

令和6年度5月号 [5月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

思春期

校長 柳田 勇

新緑が美しい季節になりましたが、寒暖差が大きく、体調を崩しやすい天候が続いております。生徒はもちろんのこと、保護者・地域の皆様におかれましても、体調を崩さぬようお気を付けください。

新年度が始まり、1ヶ月程が経過しました。お子様の様子はいかがでしょう。新しい環境で、楽しく学校生活を過ごせていることが一番ですが、嫌に感じることも様々あるかと思えます。これは周囲の環境によるものもありますが、思春期による影響があるのは皆さんも経験済みかと存じます。

心は、知的機能（記憶など）・情意機能（感情など）・社会性（家族、友人関係など）の発達の総体として捉えられ、生活経験や学習の影響を受けながら、脳の発達とともに発達していきます。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成（自己を客観的に見つめ他人の立場や考えを理解する・自分なりの価値観をもつなど）がなされます。また、身体の成長も著しく発達していきます。

今までできていたことが、成長に伴いできなくなってしまうことや、冗談を言い合っていた友人からの一言が、急に受け入れられなくなったりすることは、中学生の時期にはよくあることです。しかし、これらの変化に対する対処をしっかりと行わないと、心身に大きな影響を与えてしまうこともあります。

ストレスの対応には様々な方法がございます。しかし、私は、保護者の皆様がお子様を受け止めていただけることが何よりだと考えております。生徒たちは、自分の欲求が満たされないことで、周囲に当たってみたり、不機嫌になったりするかと思います。理由を聞いても、「別に」と返答し、なかなか理由を話さないことはよくある話かと思います。それがしばらくすると、理由を話すことができるようになります。自分を客観的に捉えることができるからです。しかし、そのタイミングで周囲が生徒との関係を保てていないと、話す機会を失い、「自分なんか」と考えてしまうケースもあるかと思います。

私たち大人も自分の生活があり、なかなかゆとりがないときもあるかと思います。しかし、お子様の一番の理解者はやはり保護者の皆様です。日頃から温かなコミュニケーションをとっていただいていることで、お子様は安心して不機嫌になれるのです。そして、そんな自分をいずれ、「何してたんだろう」と思うことができるのだと思います。

私たち教職員も、学校生活での変化を見逃さないように生徒たちと接しております。しかし、全てに対応できていないことはわかっております。いつもお願いばかりで申し訳ございませんが、お気づきの点がございましたら、御連絡いただきたいと思います。私たちも生徒たちのよりよい成長を強く望んでおります。今後ともよろしく願いいたします。